



## 地域で育てる子育てサポート

引越してきて頼れる人がいない。近くに祖父母がいるが働いていて頼れない。今、求められているのは子育て中のパパ・ママを支え、大切な子どもたちを地域で育てる視点です。たかまつファミサポは「大変な時はお互いさま」と信頼し合い、助け合える地域の人と人の温かいつながりを紡いでいます。

### 先輩まかせて会員さんのことば

「まかせて会員養成講座」では、先輩まかせて会員さんに活動の動機や喜びなどをお話しいただいています。受講生には「活動のイメージが掴めてよかった」と大変好評です。

### 家族と一緒に楽しく 優しく寄り添う サポート

当時3歳の娘さんを無料の託児に預け、2年の歳月をかけて、まかせて会員養成講座を受講した田中さん。2017年9月に登録し、娘さんが幼稚園の年中になった頃から活動を始めました。「娘と一緒に迎えに行ったり、自宅で預かる時には一緒に遊んだり。特に同世代の女の子が来た時は娘も嬉しそうです」と話す田中さん。預かるお子さんたちとの交流を通して、一人っ子である娘さんの成長も感じられたといいます。「お子さんの誕生日会の写真や赤ちゃんが誕生した時の写真をメールでもらった時は嬉しかった」と微笑む田中さん。

まかせて会員  
田中 拓美さん



\*\*\*\*\*

ファミサポを通じて出会えたご家族と喜びを共有した経験が、活動の支えになっていることがわかります。以前、お子さんをお迎えに来られたお母さんが、「久しぶりに夫以外の大人としゃべりました」と言ったのを聞き、お互いに時間がある時は、田中さんが子育て中に利用した支援センターや、子連れで行きやすいお店や美容院などのお話もするそう。「お母さんからいろいろな情報を教えてもらえるので、楽しい時間です」と話す田中さんのまなざしはとても柔らかく感じられました。

### 大好きな子どもと 過ごす喜びと共に サポート

18年間続けていた子ども向けの体操教室を退職。とにかく子どもが大好きで、子どもに携わる仕事がしたいと探していたところ、縁あってまかせて会員養成講座を見つけ受講。「2021年2月に晴れてまかせて会員になりました！」と嬉しそうに話す小林さん。援助中は子どもの気持ちを尊重し、なるべく否定せず肯定的に接することを意識しているそう。「危ないからと最初からやらせないのではなく、なんでも一度はやらせてあげる。危険のないように環境づくりをしてあげるのが大切だと思うんです」その言葉からは、子どもの興味

まかせて会員  
小林 今日子さん



\*\*\*\*\*

や好奇心を大切にしながらも、安全を確保する強い責任感と綿密な準備があることが伝わってきます。「困ったことは振り返ってみると思い出せなくて。預かっている時は勝手に自分の子どもだと思って接しているので、些細なお子さんの成長が嬉しくやりがいを感じます」と明るく笑う小林さん。おねがい会員さんから「ありがとうございました」の言葉をもらうたび、「楽しい癒しの時間をこちらこそありがとうございました」と感謝するのだそう。その「ありがとう」のキャッチボールがファミサポの真髓なのかもしれません。